

過去を学び、未来へつなぐために

糸魚川東中学校 2年 田代 湊都

僕は8月5日から7日までの三日間、広島派遣研修に参加しました。参加した動機は原爆の恐ろしさを知り、改めて平和の大切さを学ぼうと思ったからです。

僕は三日間の研修を通して特に印象に残っていることが3つあります。

1つ目は大和ミュージアムでの見学です。そこには戦艦ヤマトを10分の1サイズで再現した模型が展示されていました。特に心に残っているのは水中で人が乗り、目標に体当たりする特攻兵器、いわゆる人間魚雷です。そこで僕は魚雷で敵艦に向かっていく方が、家族への感謝の気持ちを残したメッセージを聞きました。今でも残るその音声を聞いた僕はその方の気持ちを思い、とても胸が苦しくなりました。「二度と同じことをしてはいけない。大切な人の命をなくしてはいけない。」と強く感じました。

2つ目は広島平和記念資料館です。平和記念資料館では、実際に被爆して亡くなった方のボロボロになった学生服や、原爆が投下された8時15分で止まっている時計などがあり、改めて原爆の恐ろしさを感じました。資料館の展示物を見ていると、今自分が生きていることがどんなに幸せかということを実感しました。

3つ目は平和記念式典に参列したことです。平和記念式典では、日本の方々だけではなく、外国の方もたくさんいて、二度と戦争してはいけないという気持ちが伝わってきました。平和への思いを述べた小学生の子供代表は「願うだけでは平和は訪れません。色鮮やかな日常を守り、平和を作っていくのは私た

ちです。」と話していて、この言葉に僕の思いは変わりました。家族や友達など周りの人たちに戦争や原爆の恐ろしさを伝えていくことが大切で、それが今の僕にできることだと思いました。

世界では今も戦争をしている国があり、たくさんの人の命がなくなっています。自分の国ではないからといって他人事にしてはいけません。日本は唯一の核被爆国です。同じ過ちを繰り返してはいけないと強く思いました。今回の広島派遣研修に参加したことにより、原爆の恐ろしさや戦争を二度と繰り返してはいけないということ、平和の中で勉強できるということがとても幸せなのだと感じました。世界が平和であるために、この経験をみんなに伝えていきたいです。
